

20年3月期第2四半期 決算の概要

2019年11月14日

株式会社今仙電機製作所

<http://www.imasen.co.jp>

I . 第2四半期の決算概要

百万円	前年同期実績 (18年9月期)	当期実績 (19年9月期)	増減額	増減率
売上高	59,744	56,387	▲ 3,357	▲ 5.6%
営業利益	1,701	1,388	▲ 313	▲ 18.4%
経常利益	1,701	1,390	▲ 311	▲ 18.3%
当期純利益	1,122	815	▲ 307	▲ 27.3%
1株当たり純利益	53.96円	39.23円	▲ 14.73円	▲ 27.3%

北米、中国での生産減少により、減収減益となりました

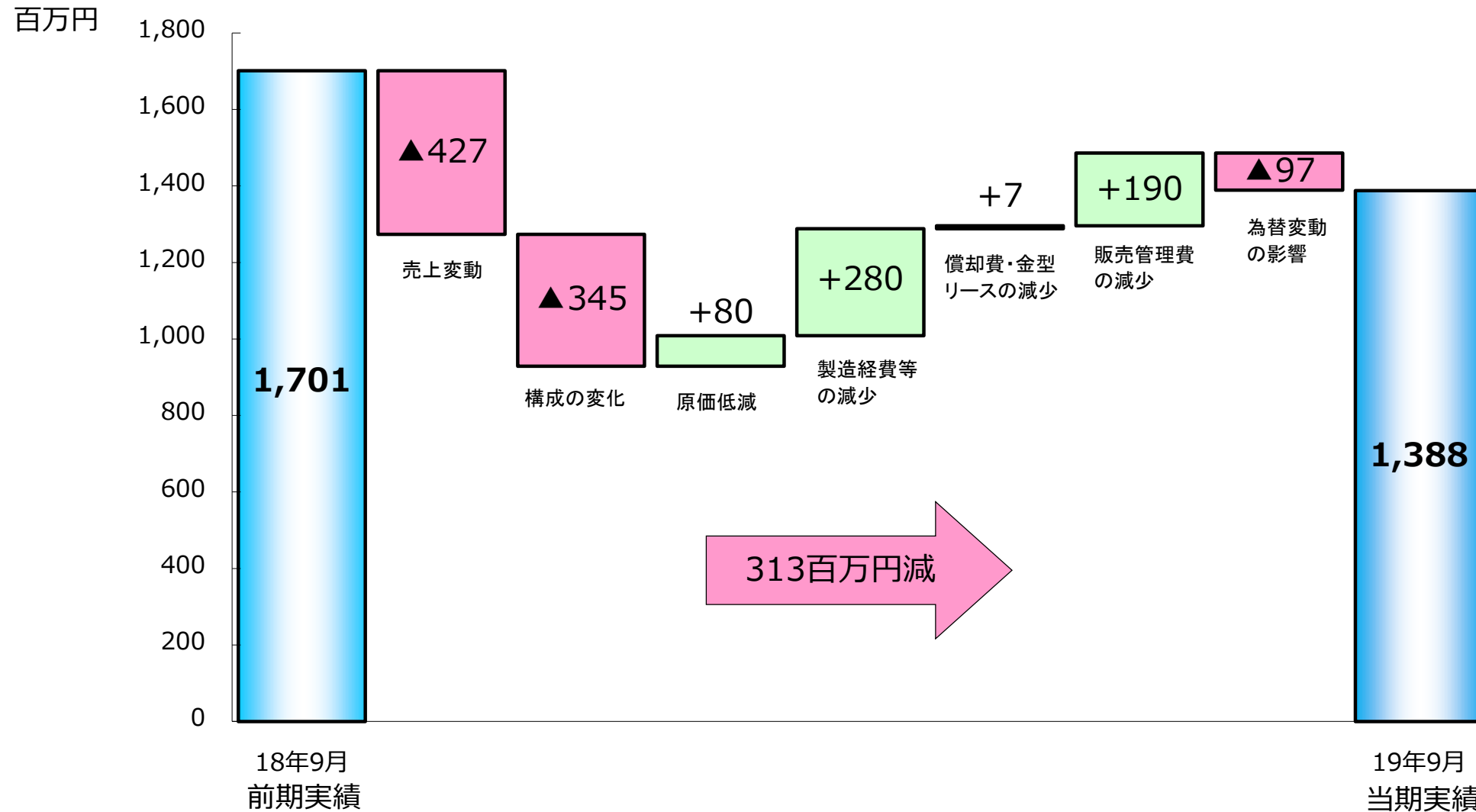
為替

USD	19/9期	110.06円	18/9期	108.67円	1.39円の円安
CNY	19/9期	16.20円	18/9期	17.08円	0.88円の円高
THB	19/9期	3.49円	18/9期	3.43円	0.06円の円安

百万円	前期実績 (19年3月期)	当期実績 (19年9月期)	増減額	増減率
総 資 産	84,151	82,071	▲ 2,080	▲ 2.5%
純 資 産	50,676	51,032	356	0.7%
自 己 資 本 比 率	59.8%	61.8%	-	-
1 株 当 た り 純 資 産	2,421.26円	2,438.33円	17.07円	0.7%

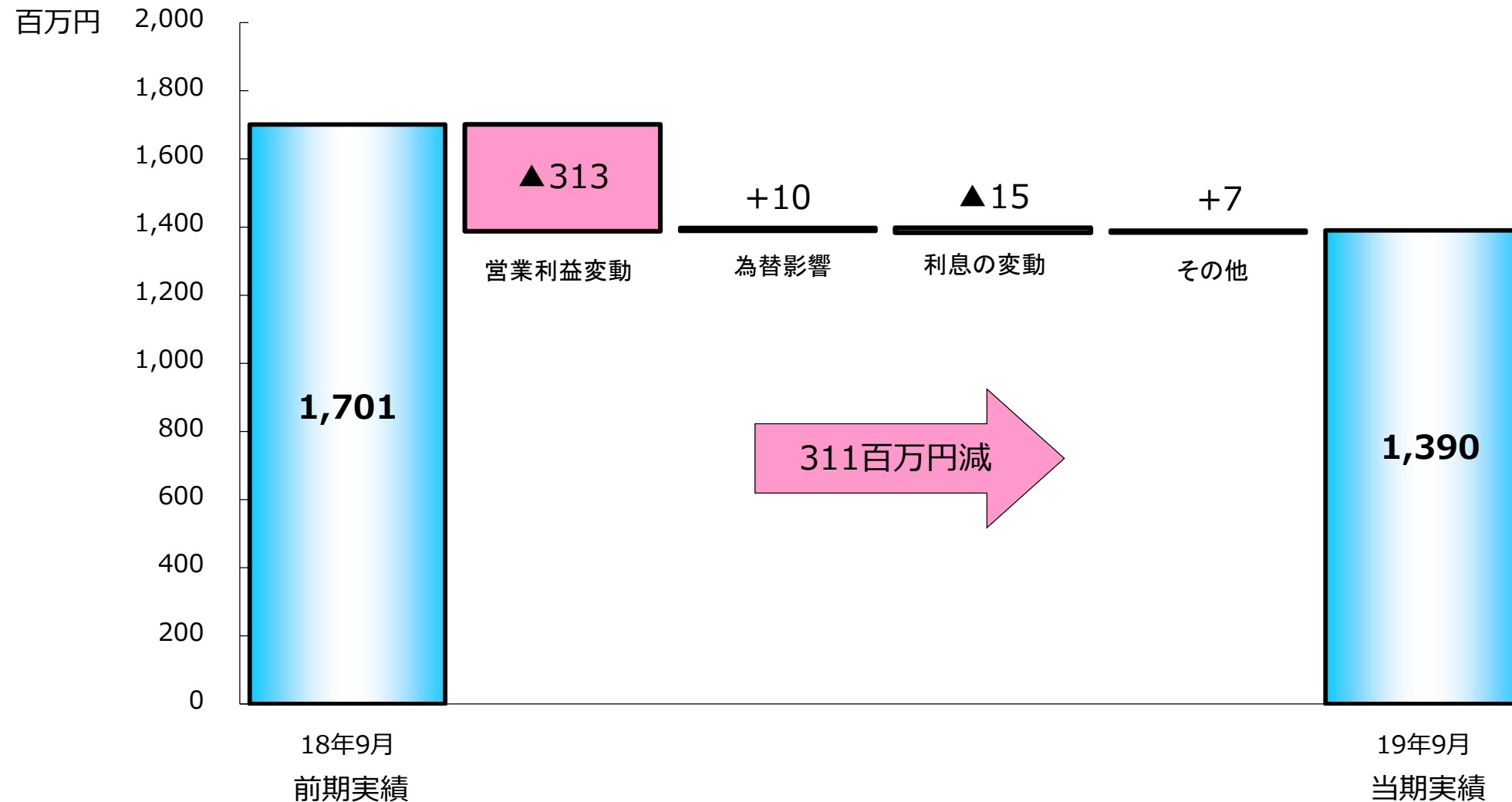
総資産は投資抑制による有形固定資産、たな卸資産や現金預金変動などにより減少しております。純資産は利益剰余金により増加しております

2Q実績 前年同期比変動要因：営業利益



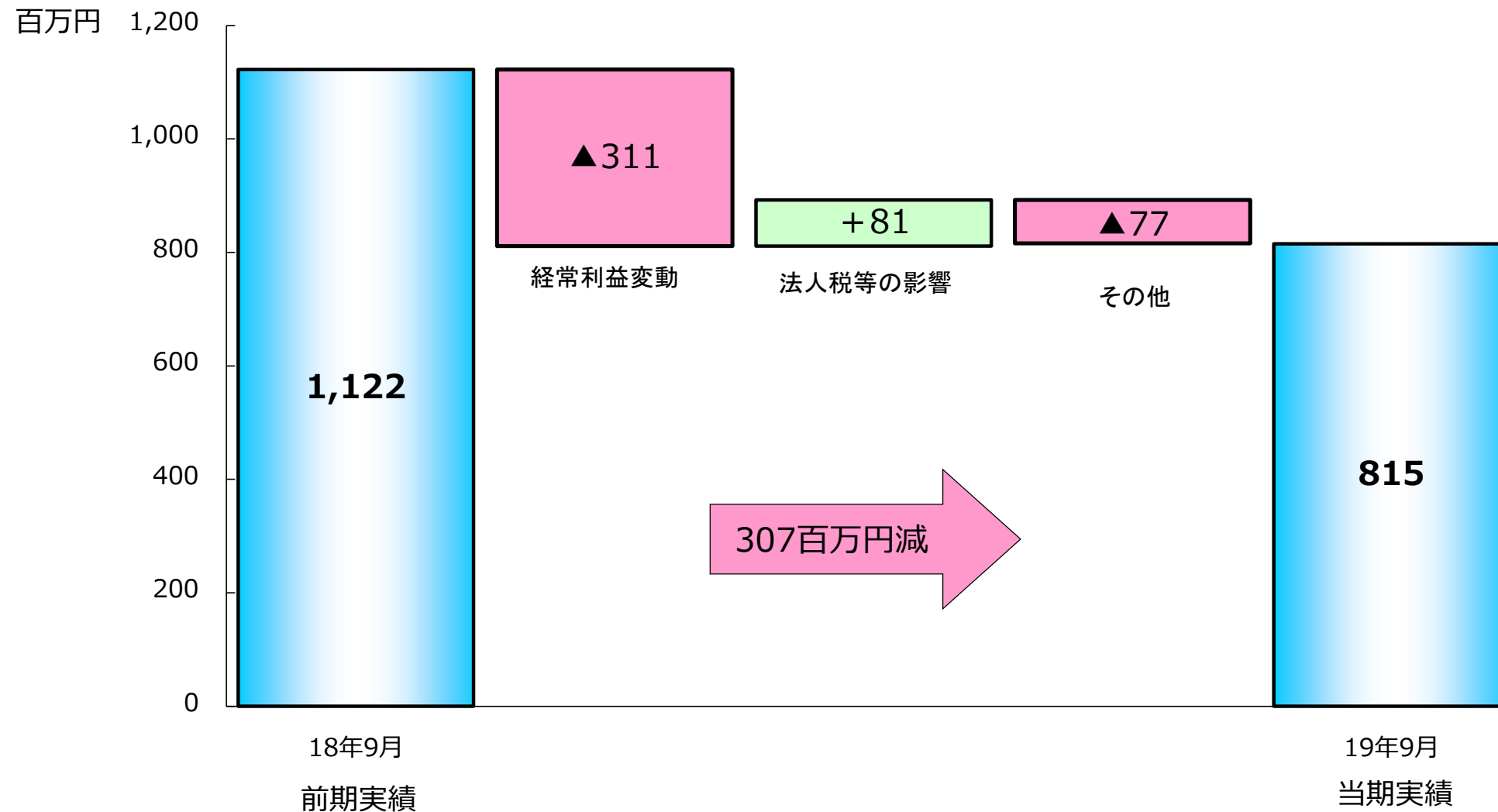
売上の減少および構成の変化により減益となりました

2Q実績 前年同期比変動要因：経常利益



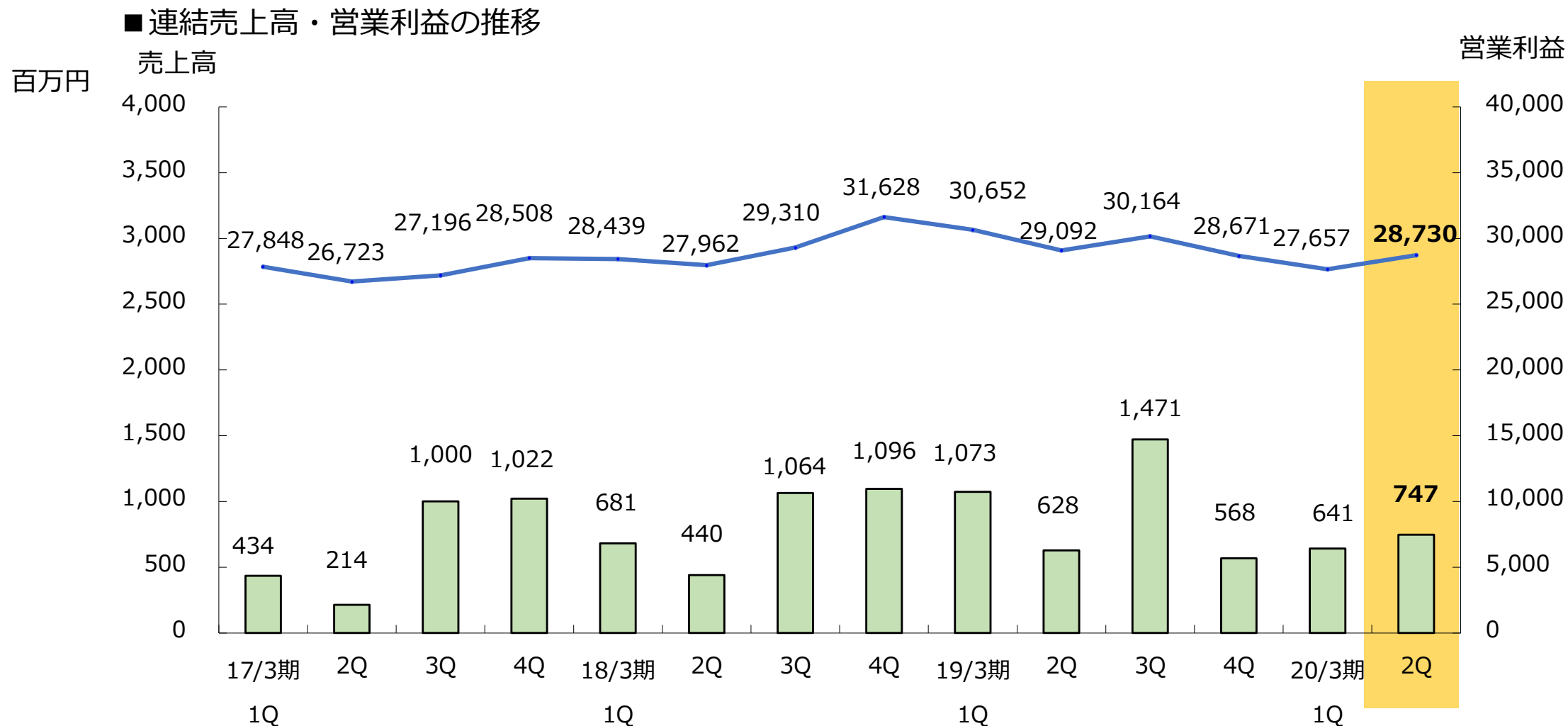
営業利益の減少により減益となりました

2Q実績 前年同期比変動要因：当期純利益



経常利益の減少により減益となりました

四半期業績の推移



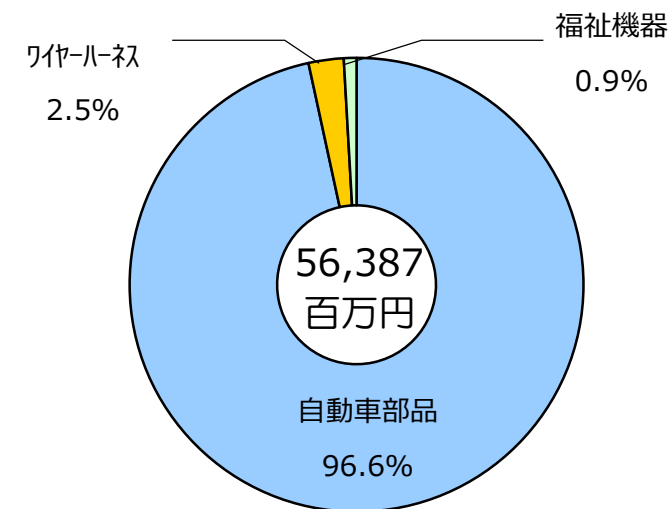
1Q比較において、国内、中国における生産回復により増収増益となりました

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

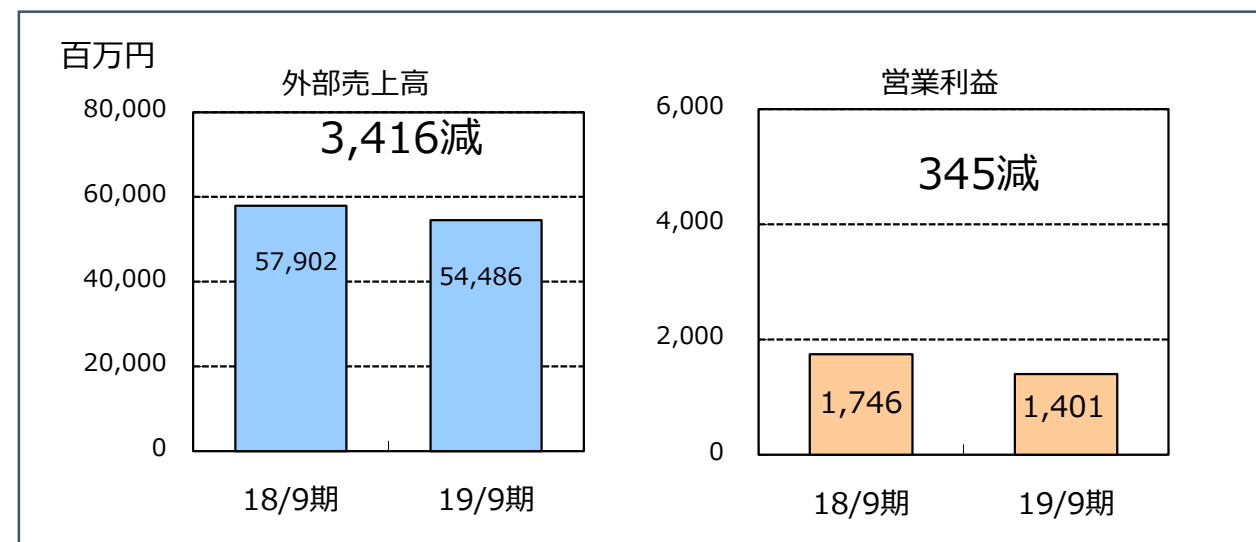
■ 事業別売上高、営業利益

百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハ 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	19/9期	54,486	1,377	523	56,387
	18/9期	57,902	1,333	508	59,744
	増減額	▲ 3,416	44	15	▲ 3,357
営業利益	19/9期	1,401	▲ 12	▲ 6	1,388
	18/9期	1,746	▲ 31	▲ 19	1,701
	増減額	▲ 345	19	13	▲ 313

事業の種類別 売上高構成



■ 自動車部品関連事業売上高、営業利益

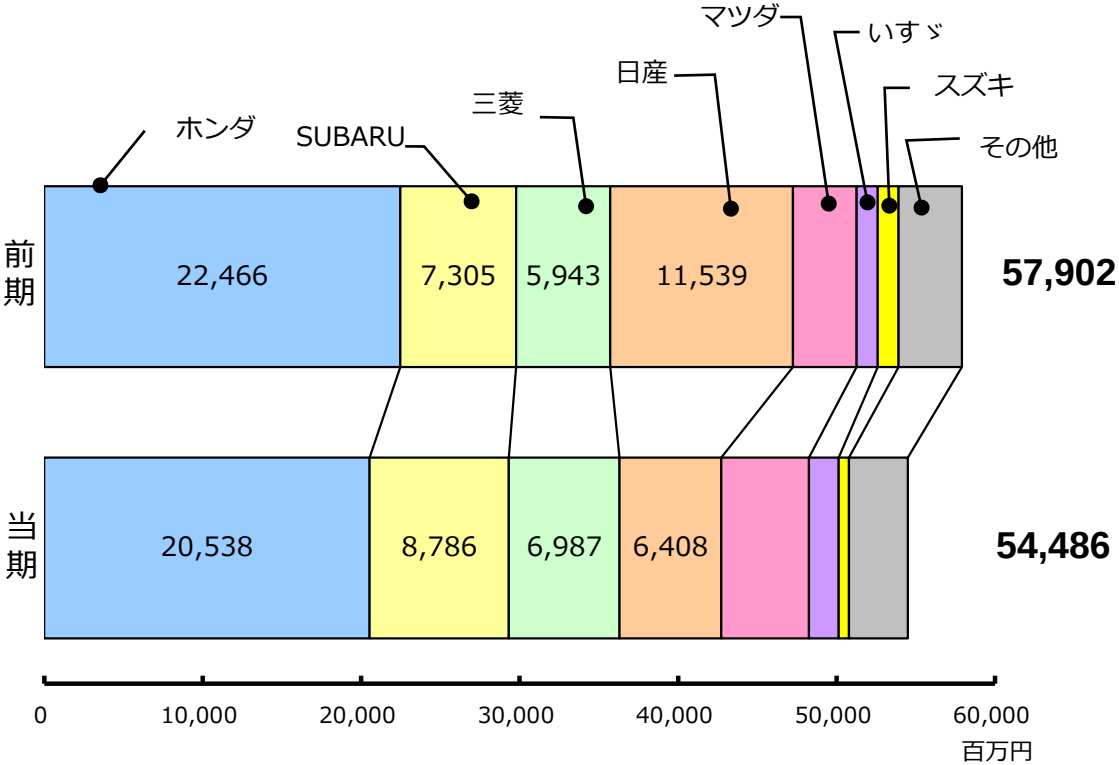


主要事業である自動車部品関連事業において、北米、中国での生産減少などがあり、減収減益となりました

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

■得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	22,466	38.8%	20,538	37.7%	▲ 1,928	▲ 8.6%
(株)SUBARU	7,305	12.6%	8,786	16.1%	1,481	20.3%
三菱自動車工業(株)	5,943	10.3%	6,987	12.8%	1,044	17.6%
日産自動車(株)	11,539	19.9%	6,408	11.8%	▲ 5,131	▲ 44.5%
マツダ(株)	4,008	6.9%	5,530	10.1%	1,522	38.0%
いすゞ自動車(株)	1,339	2.3%	1,875	3.4%	536	40.0%
スズキ(株)	1,300	2.2%	660	1.2%	▲ 640	▲ 49.2%
ダイハツ工業(株)	346	0.6%	362	0.7%	16	4.6%
トヨタ自動車(株)	305	0.5%	310	0.6%	5	1.6%
日野自動車(株)	188	0.3%	170	0.3%	▲ 18	▲ 9.6%
ヤマハ発動機(株)	48	0.1%	53	0.1%	5	10.4%
その他	3,115	5.5%	2,800	5.2%	▲ 315	▲ 10.1%
計	57,902	100.0%	54,486	100.0%	▲ 3,416	▲ 5.9%



■ホンダ系列向け

- ・北米、中国、タイにおける生産減少

■SUBARU系列向け

- ・北米、国内における生産増加

■三菱系列向け

- ・国内、中国における生産増加

■日産系列向け

- ・北米、中国、タイにおける生産減少

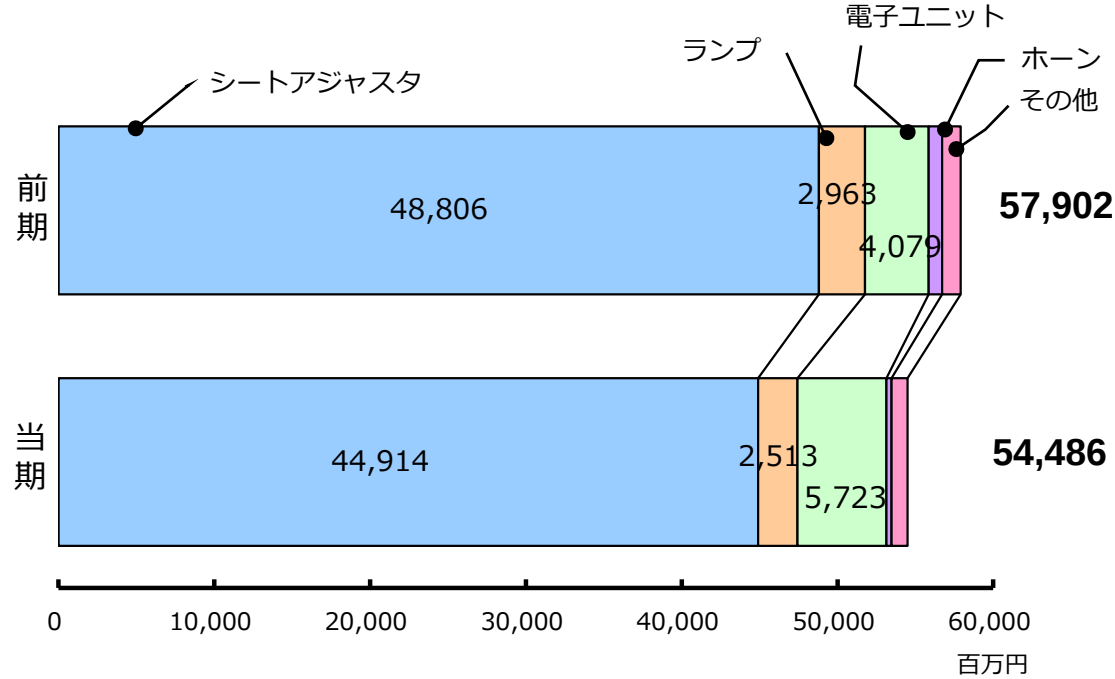
■マツダ系列向け

- ・国内、タイにおける生産増加

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

■機種別 売上高構成

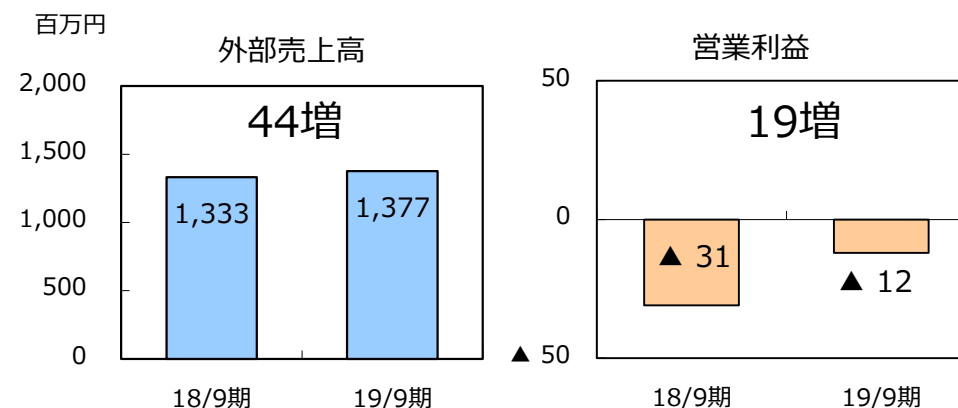
百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	48,806	84.3%	44,914	82.4%	▲ 3,892	▲ 8.0%
シートアジャスタ	48,806	84.3%	44,914	82.4%	▲ 3,892	▲ 8.0%
(2)電装部品	7,915	13.6%	8,563	15.7%	648	8.2%
ランプ	2,963	5.1%	2,513	4.6%	▲ 450	▲ 15.2%
電子ユニット	4,079	7.0%	5,723	10.5%	1,644	40.3%
ホーン	873	1.5%	327	0.6%	▲ 546	▲ 62.5%
(3)その他	1,181	2.1%	1,009	1.9%	▲ 172	▲ 14.6%
合 計	57,902	100.0%	54,486	100.0%	▲ 3,416	▲ 5.9%



- 主力製品であるシートアジャスタは北米、中国、タイの生産が減少しました
- ランプは国内での生産が減少しました
- 電子ユニットは国内、タイでの生産が増加しました

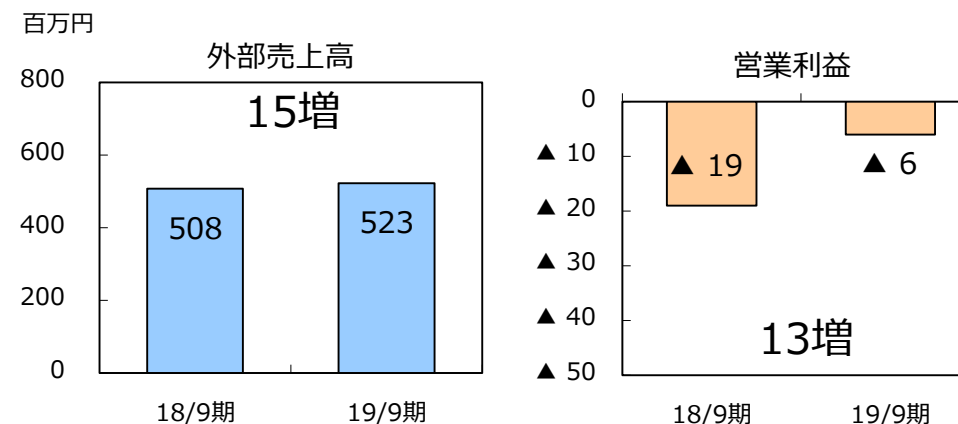
■ ワイヤハーネス関連事業

航空機関連の受注増加により増収、利益回復となりました



■ 福祉機器関連事業

電動車いすの売上が増加し、増収、利益回復となりました



■所在地別売上高構成

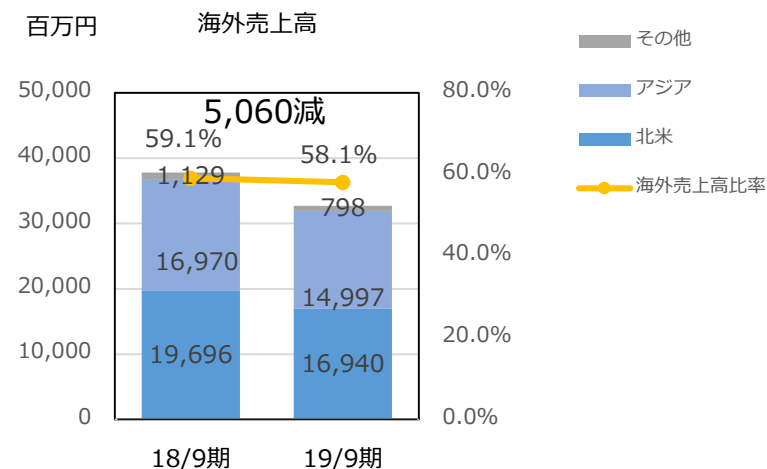
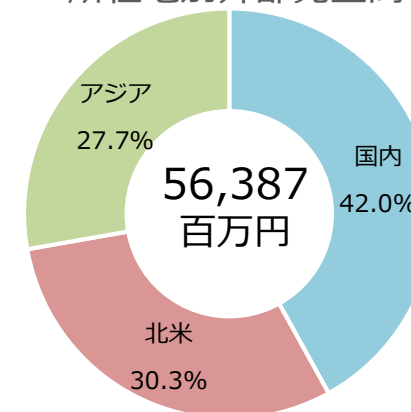
百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	19/9期	23,679	17,059	15,649	56,387
	18/9期	22,334	19,773	17,637	59,744
	増減額	1,345	▲2,714	▲1,988	▲3,357
営業利益	19/9期	166	▲157	1,275	1,388
	18/9期	373	10	1,276	1,701
	増減額	▲207	▲167	▲1	▲313

■国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
19/9期	23,651	16,940	14,997	798	56,387
18/9期	21,947	19,696	16,970	1,129	59,744
増減額	1,704	▲2,756	▲1,973	▲331	▲3,357

※国別売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

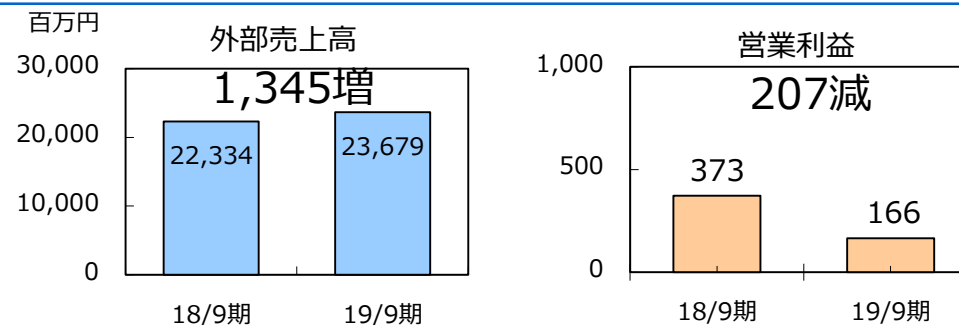
所在地別外部売上高



国内は増収減益、北米、アジアは減収減益となりました。また海外売上高比率は北米、その他の減少もあり、1.0ポイント減の58.1%となりました

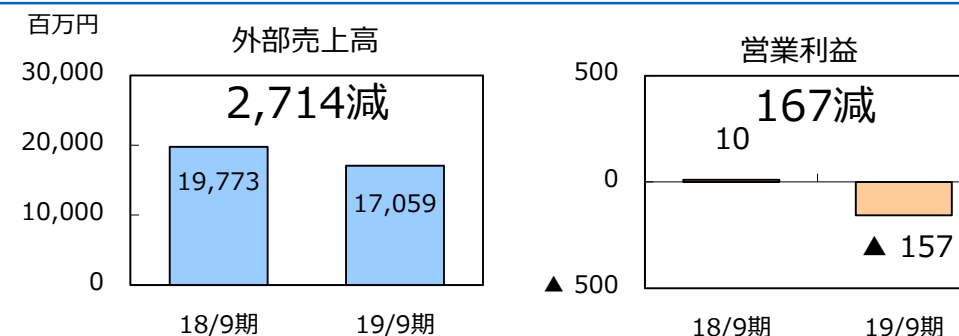
■ 国内

マツダ、SUBARU向けの生産が増加しましたが、構成変化の影響により減益となりました



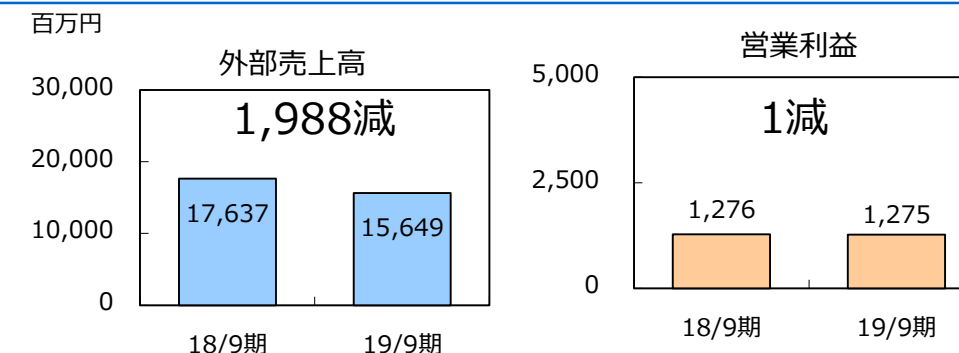
■ 北米

SUBARU向けの生産が増加しましたが、日産向けの生産減少により減収減益となりました

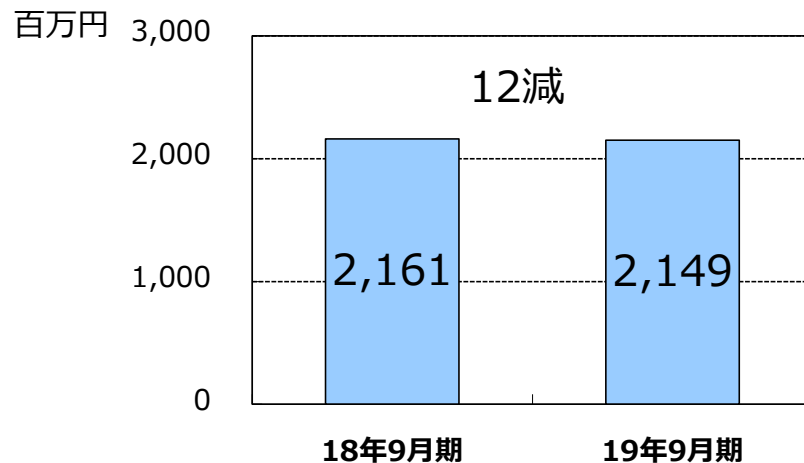


■ アジア

中国、インドなどにおける生産減少により減収となりました



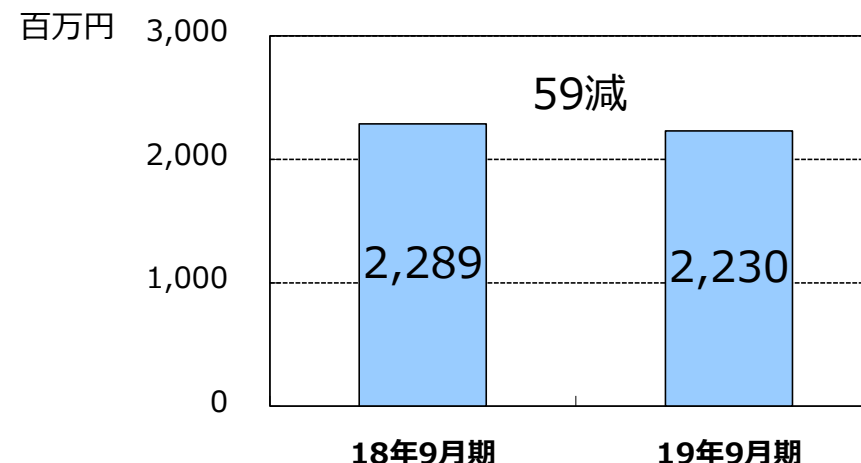
■ 設備投資



百万円	18年9月期 (実績)	19年9月期 (実績)	前期比増減
国内	1,373	1,367	▲ 6
北米	364	179	▲ 185
メキシコ	6	14	8
中国	167	77	▲ 90
タイ	186	284	98
フィリピン	43	177	134
台湾	7	5	▲ 2
インド	10	42	32
インドネシア	0	0	0
合計	2,161	2,149	▲ 12

設備投資は前期並み

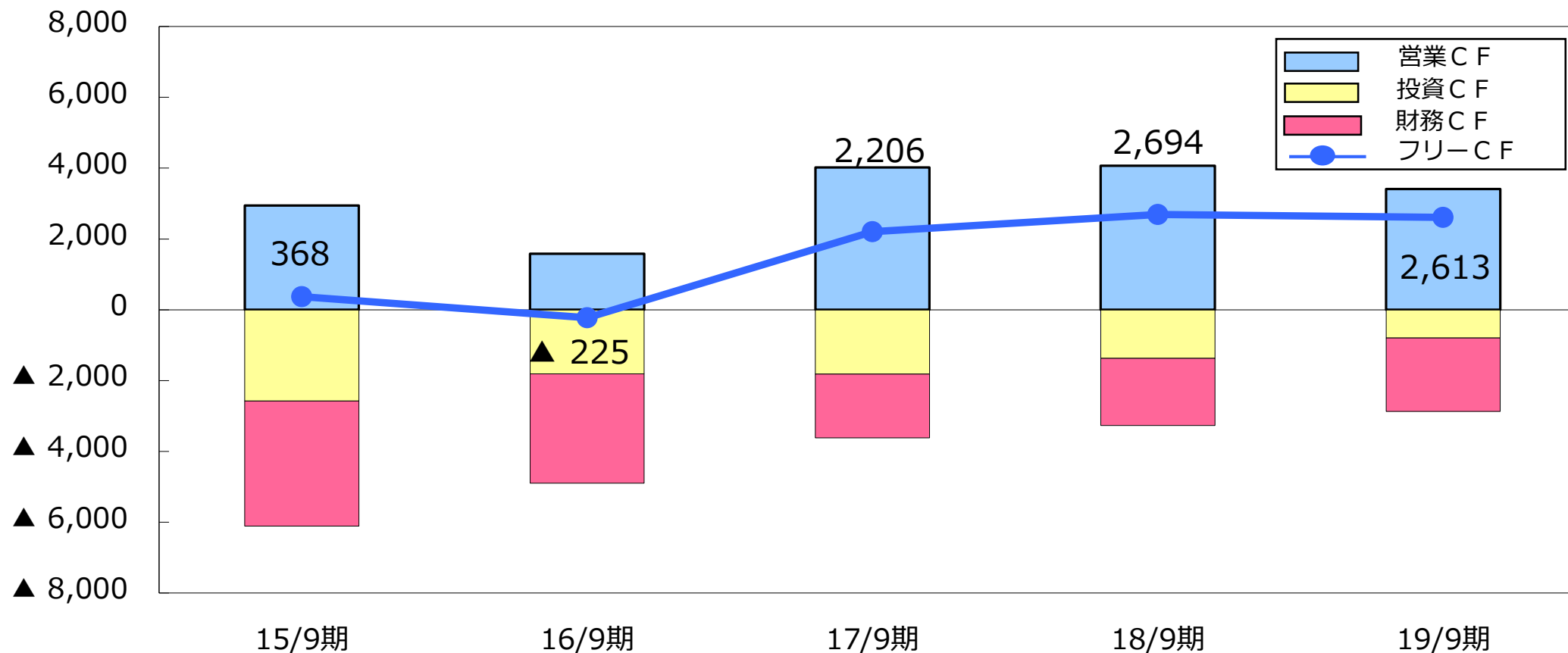
■ 減価償却費



百万円	18年9月期 (実績)	19年9月期 (実績)	前期比増減
国内	1,236	1,309	73
北米	444	315	▲ 129
メキシコ	67	67	0
中国	252	239	▲ 13
タイ	212	180	▲ 32
フィリピン	26	71	45
台湾	19	15	▲ 4
インド	24	30	6
インドネシア	5	0	▲ 5
合計	2,289	2,230	▲ 59

北米における減価償却費は減少

百万円



- 営業CFは、たな卸資産の減少、利益の減少などにより、減少しました
- 投資CFは定期預金の減少により、減少しました
- フリーCFは2,613百万円となりました

Ⅱ．20年3月期業績見通し 概要

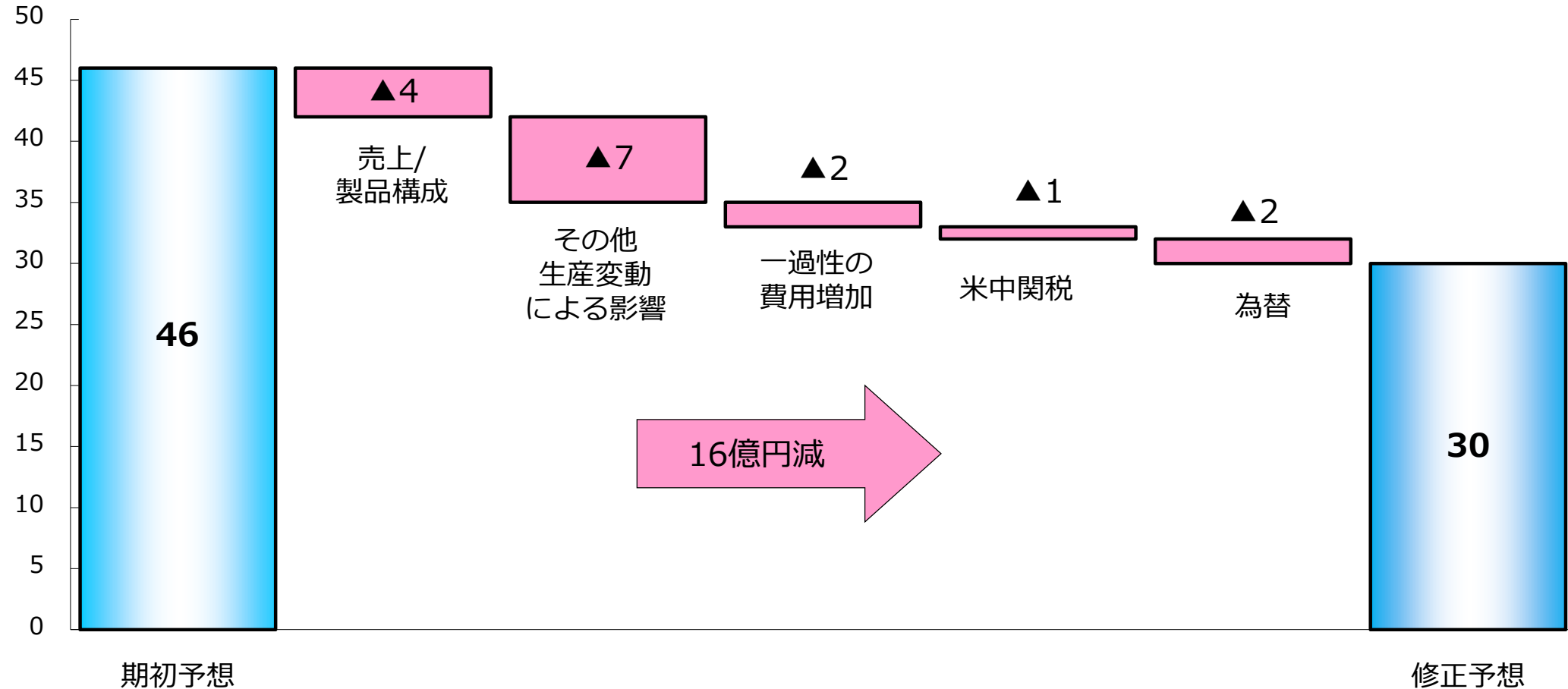
百万円	前期実績 (19年3月期)	当期期初予想 (20年3月期)	当期修正予想 (20年3月期)	増減額	増減率
売上高	118,579	112,000	112,000	0	0.0%
営業利益	3,740	4,600	3,000	▲ 1,600	▲ 34.8%
経常利益	3,691	4,500	3,100	▲ 1,400	▲ 31.1%
当期純利益	2,474	3,200	2,100	▲ 1,100	▲ 34.4%
1株当たり純利益	118.98円	153.89円	100.90円	▲ 52.99円	▲ 34.4%

利益は、国内における海外向け売上減少および為替の影響により期初予想を下回ると予想しております。

為替

USD	20/3期	108.58円	19/3期	110.44円	1.86円の円高
CNY	20/3期	15.79円	19/3期	16.71円	0.92円の円高
THB	20/3期	3.49円	19/3期	3.42円	0.07円の円安

■ 営業利益の増減（億円）

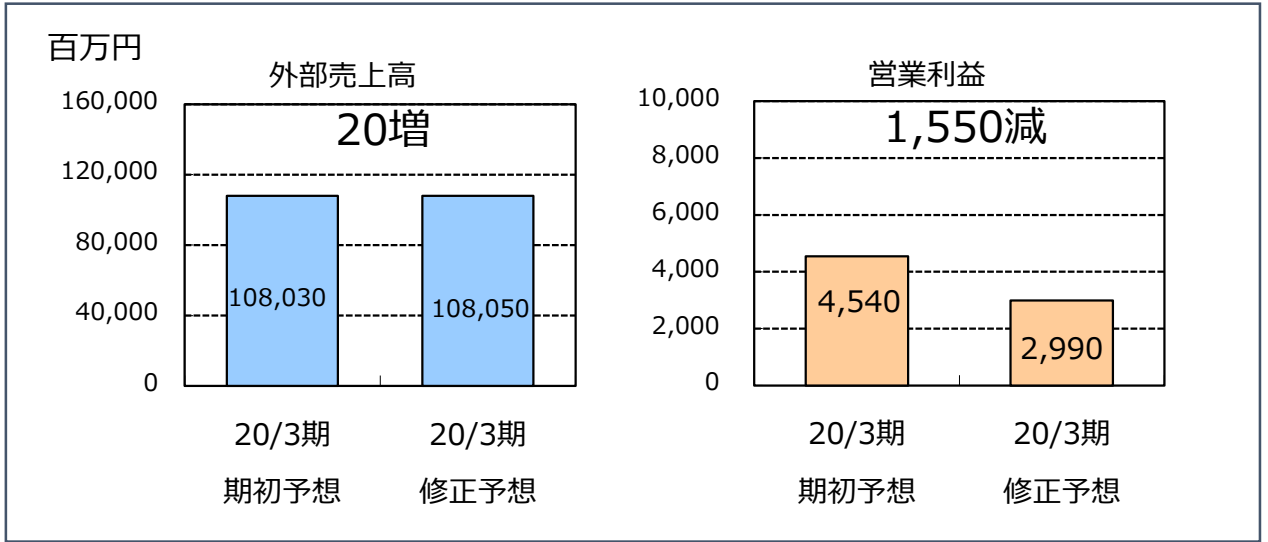
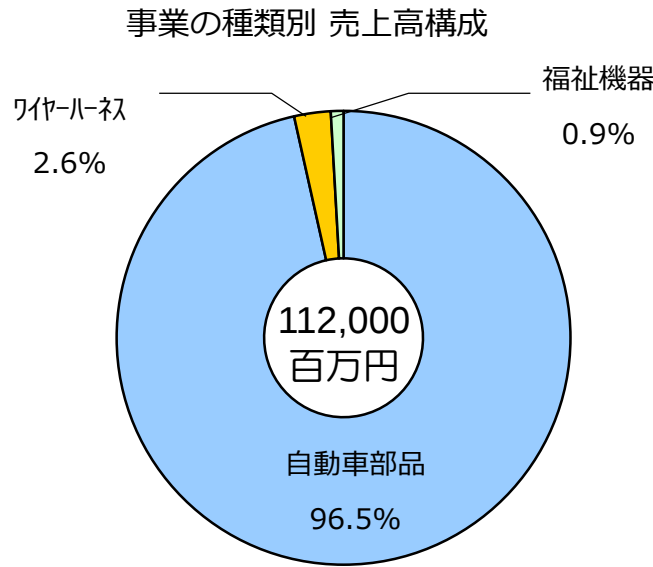


国内における海外向け売上減少や為替影響により期初予想を下回る予想としております

20年3月期予想 事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

■ 事業別売上高、営業利益

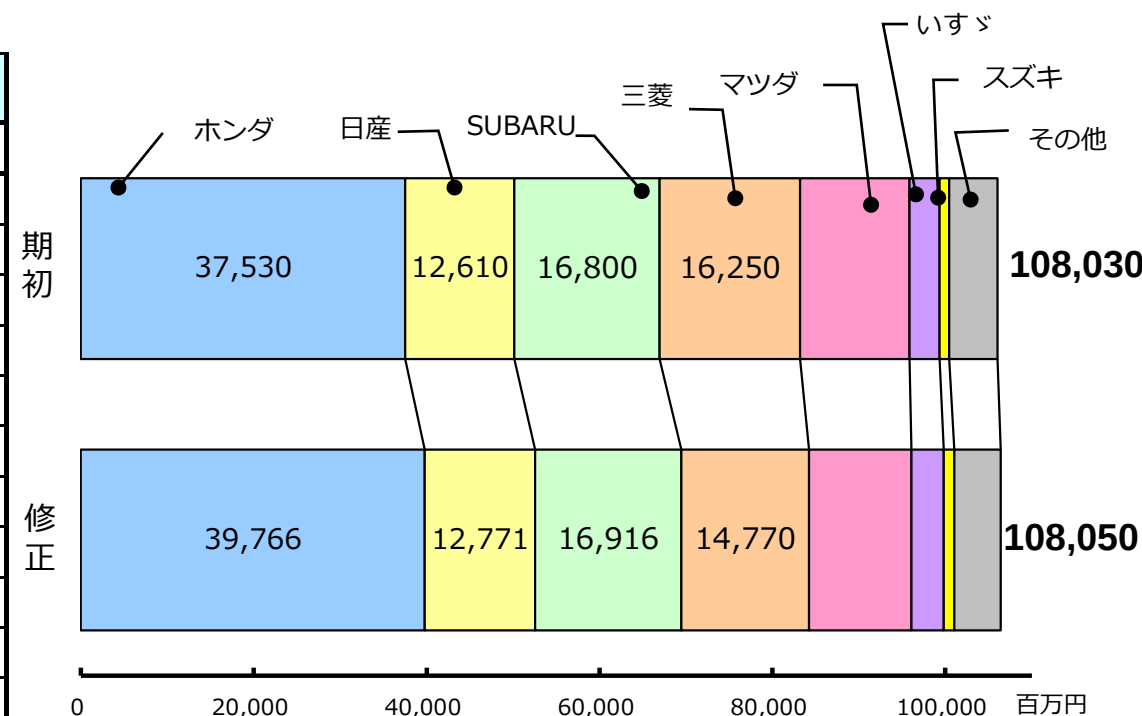
百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハ 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	20/3期 (修正予想)	108,050	2,880	1,070	112,000
	20/3期 (期初予想)	108,030	2,890	1,080	112,000
	増減額	20	▲ 10	▲ 10	0
営業利益	20/3期 (修正予想)	2,990	▲ 30	28	3,000
	20/3期 (期初予想)	4,540	20	30	4,600
	増減額	▲ 1,550	▲ 50	▲ 2	▲ 1,600



自動車部品関連事業において
国内における海外向け売上減少およ
び為替の影響により利益については
減益を予想しております

■得意先系列別 売上高構成

百万円	当期		当期			
	(期初予想)	構成比	(修正予想)	構成比	増減	率
本田技研工業(株)	37,530	34.7%	39,766	36.8%	2,236	6.0%
日産自動車(株)	12,610	11.7%	12,771	11.8%	161	1.3%
(株)SUBARU	16,800	15.6%	16,916	15.7%	116	0.7%
三菱自動車工業(株)	16,250	15.0%	14,770	13.7%	▲ 1,480	▲ 9.1%
マツダ(株)	12,680	11.7%	11,848	11.0%	▲ 832	▲ 6.6%
いすゞ自動車(株)	3,470	3.2%	3,727	3.4%	257	7.4%
スズキ(株)	1,100	1.0%	1,239	1.1%	139	12.6%
ダイハツ工業(株)	720	0.7%	646	0.6%	▲ 74	▲ 10.3%
トヨタ自動車(株)	750	0.7%	597	0.6%	▲ 153	▲ 20.4%
日野自動車(株)	390	0.4%	308	0.3%	▲ 82	▲ 21.0%
ヤマハ発動機(株)	170	0.2%	97	0.1%	▲ 73	▲ 42.9%
その他	5,560	5.1%	5,365	5.0%	▲ 195	▲ 3.5%
計	108,030	100.0%	108,050	100.0%	20	0.0%



■ホンダ系列向け

- ・北米における生産増加

■日産系列向け

- ・北米における生産増加

■SUBARU系列向け

- ・国内における生産増加

■三菱系列向け

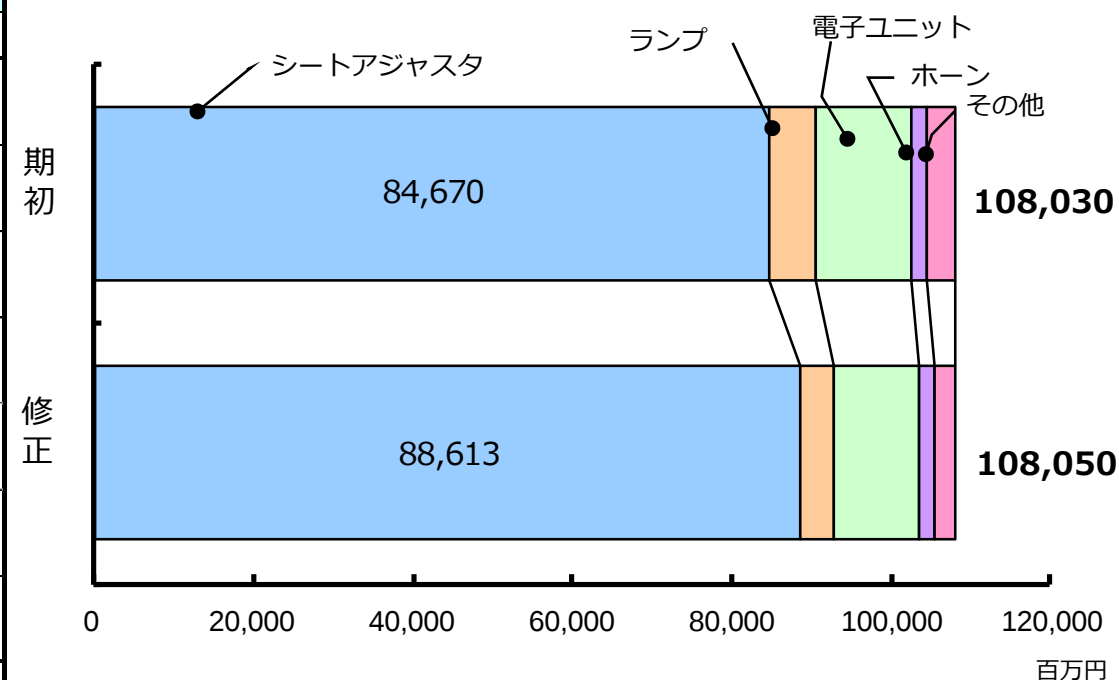
- ・国内、中国における生産減少

■マツダ系列向け

- ・北米、タイにおける生産減少

■機種別 売上高構成

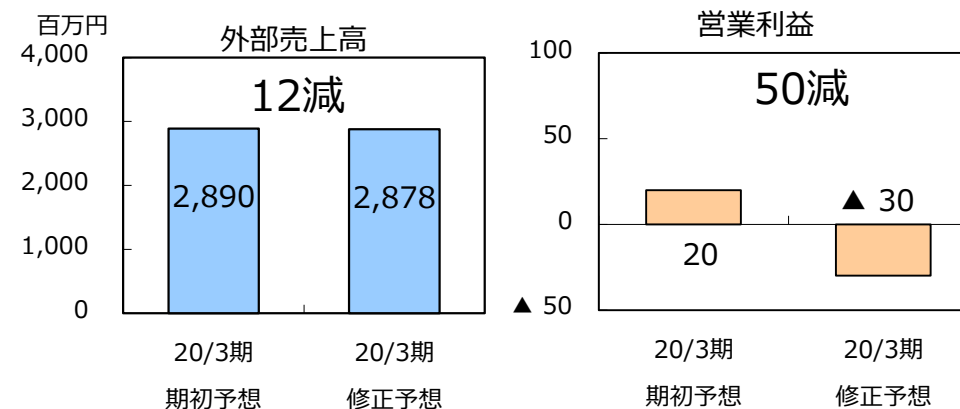
百万円	当期 (期初予想)	構成比	当期 (修正予想)	構成比	増減	率
(1)機構部品	84,670	78.4%	88,613	82.0%	3,943	4.7%
シートアジャスタ	84,670	78.4%	88,613	82.0%	3,943	4.7%
(2)電装部品	19,680	18.2%	16,733	15.5%	▲ 2,947	▲ 15.0%
ランプ	5,710	5.3%	4,201	3.9%	▲ 1,509	▲ 26.4%
電子ユニット	12,070	11.2%	10,828	10.0%	▲ 1,242	▲ 10.3%
ホーン	1,900	1.8%	1,703	1.6%	▲ 197	▲ 10.4%
(3)その他	3,680	3.4%	2,704	2.5%	▲ 976	▲ 26.5%
合 計	108,030	100.0%	108,050	100.0%	20	0.0%



シートアジャスタ中心の事業構成に変化ありませんが、期初予想に対し、ランプ、電子ユニットの売上が減少する見込みです

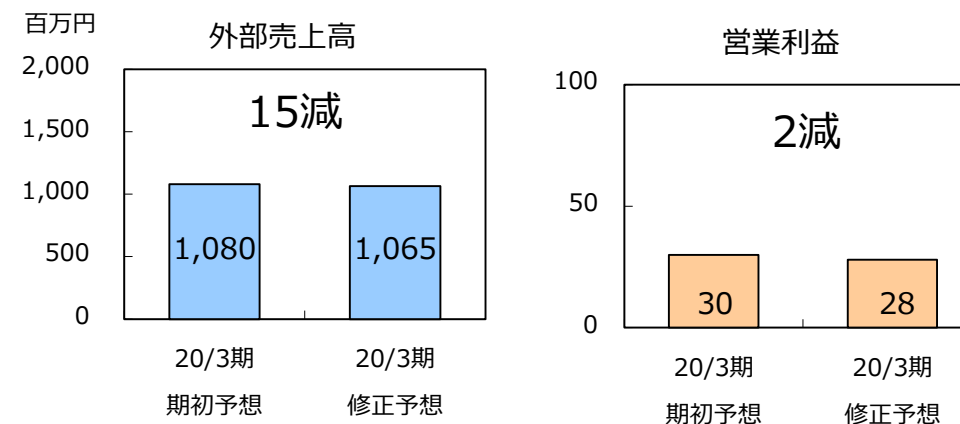
■ ワイヤーハーネス関連事業

工作機械関連の受注減少により減収減益の見込みです



■ 福祉機器関連事業

電動車いす、義足の販売台数の減少により減収の見込みです

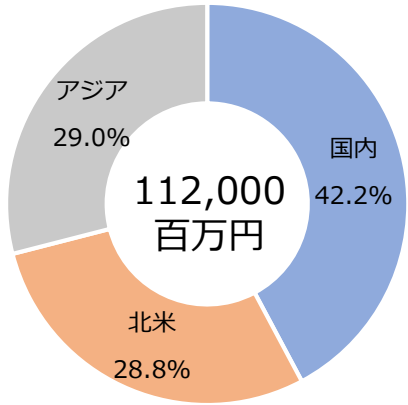


20年3月期予想 所在地別セグメント・海外売上高

■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	20/3期修正予想	47,280	32,260	32,460	112,000
	20/3期期初予想	48,120	32,160	31,720	112,000
	増減額	▲ 840	100	740	0
営業利益	20/3期修正予想	380	▲ 310	2,930	3,000
	20/3期期初予想	1,640	40	3,120	4,600
	増減額	▲ 1,260	▲ 350	▲ 190	▲ 1,600

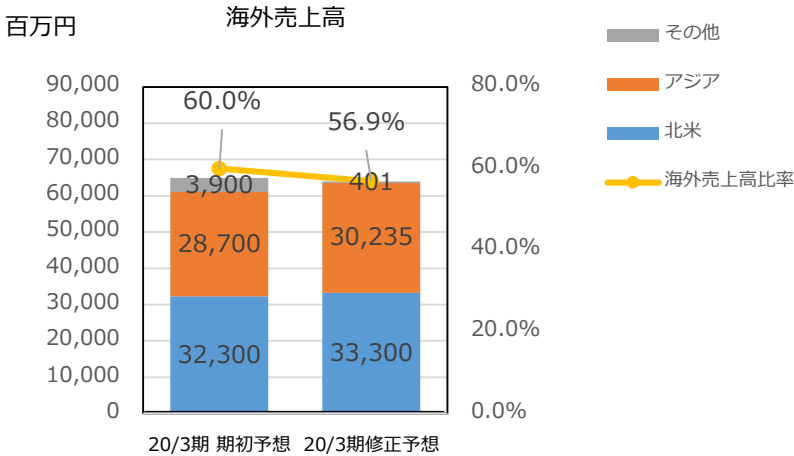
所在地別外部売上高



■国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
20/3期修正予想	48,062	33,300	30,235	401	112,000
20/3期期初予想	47,100	32,300	28,700	3,900	112,000
増減額	962	1,000	1,535	▲ 3,499	0

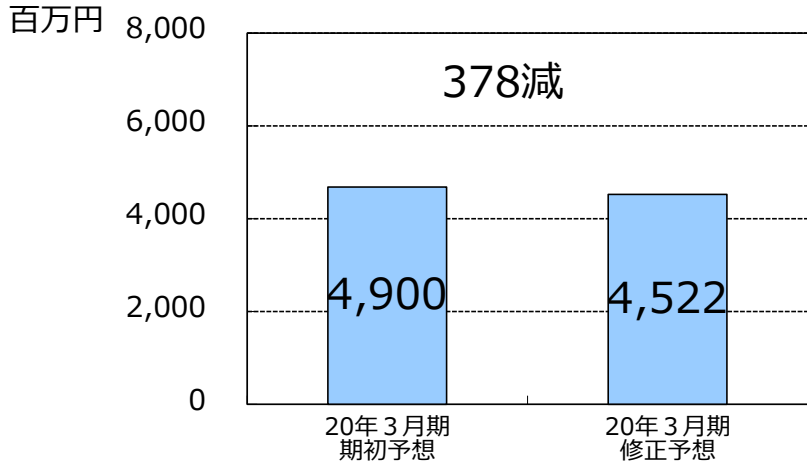
※国別売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています



国内は減収減益、北米・アジアは増収減益の見込みです

20年3月期予想 設備投資・減価償却費

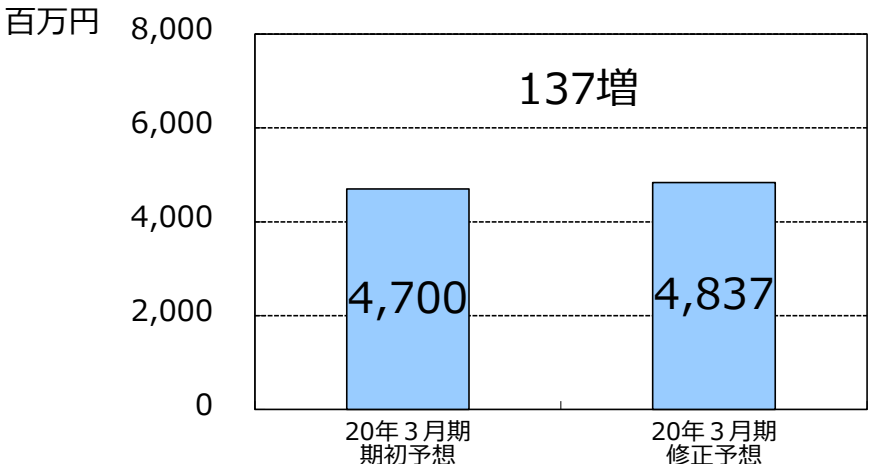
■ 設備投資



百万円	20年3月期 期初予想	20年3月期 修正予想	増減額
国内	2,450	2,435	▲ 15
北米	282	315	32
メキシコ	135	81	▲ 54
中国	778	404	▲ 374
タイ	1,038	1,006	▲ 32
フィリピン	71	190	119
台湾	31	9	▲ 22
インド	116	83	▲ 33
インドネシア	0	0	0
合計	4,900	4,522	▲ 378

中国における設備投資抑制により減少

■ 減価償却費



百万円	20年3月期 期初予想	20年3月期 修正予想	増減額
国内	2,657	2,660	3
北米	890	953	64
メキシコ	132	135	3
中国	469	468	▲ 1
タイ	383	391	8
フィリピン	60	133	73
台湾	33	30	▲ 3
インド	75	66	▲ 9
インドネシア	2	1	▲ 0
合計	4,700	4,837	137

会計基準の見直し等により増加

Ⅲ. 今後の経営方針

① フェーズ3 重点展開方針

Dream 2020

3年単位の中期ステップにて展開

【フェーズ1】

2014年度実績

連結売上高 1,119億円

営業利益率 2.9%

【フェーズ2】

2017年度実績

営業利益率 2.8%

【フェーズ3】

2020年度目標

営業利益率 6.0%

シートアジャスタ
世界トップ

環境・安全
新製品

非自動車

フェーズ3(2018~2020 年度)

①技術革新

今仙グループの総力を結集させイノベーションを推進する【技術、造り、品質、管理】

②国内事業の再構築

今後拡大が見込めない国内市場において事業、生産拠点をあるべき姿に再構築する【新規事業、生産拠点再編】

③グローバル拠点最適化

グローバル拠点の競争力およびネットワークの強化を推進する

④人材育成

グローバルでの人材育成を加速させ強化する

⑤事業の選択と集中

リソースの適正配分により事業全体での収益体質強化を図る

フェーズ1(2012~2014 年度)

①研究開発の強化

②人材育成とグローバル活用

③グローバルでの事業拡大

④国内事業の再編

⑤非自動車領域の事業開発

⑥グローバルマネジメント確立

フェーズ2(2015~2017 年度)

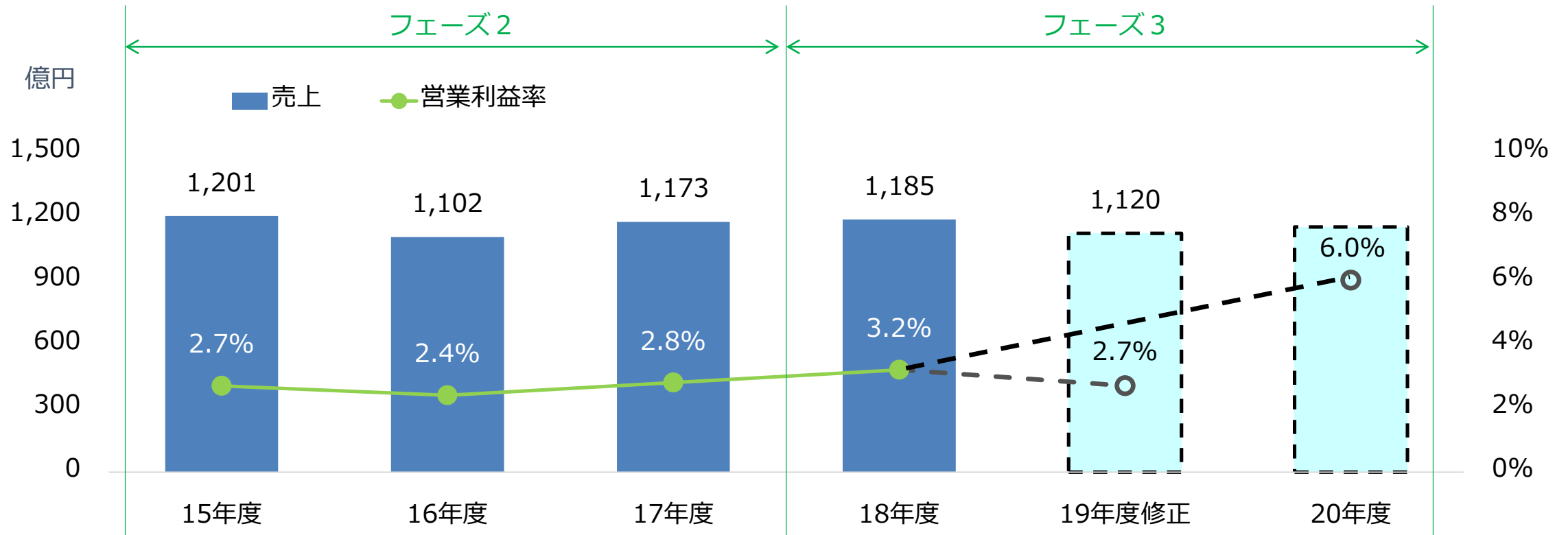
①技術革新

②国内事業の再構築

③グローバル拠点最適化

④人材育成

② Dream2020 売上・営業利益推移



売上は横ばいで推移、利益は16年度以降収益改善傾向も、19年度下振れ見通し

<19年度の中間振り返り>

事業環境

- 米中問題等もあり市場環境が依然不透明
- 次世代自動車に向け、業界再編が再燃
- 製品の高機能化とコスト競争のギャップ継続

重点展開方針

技術革新

国内事業の再構築

グローバル拠点の最適化

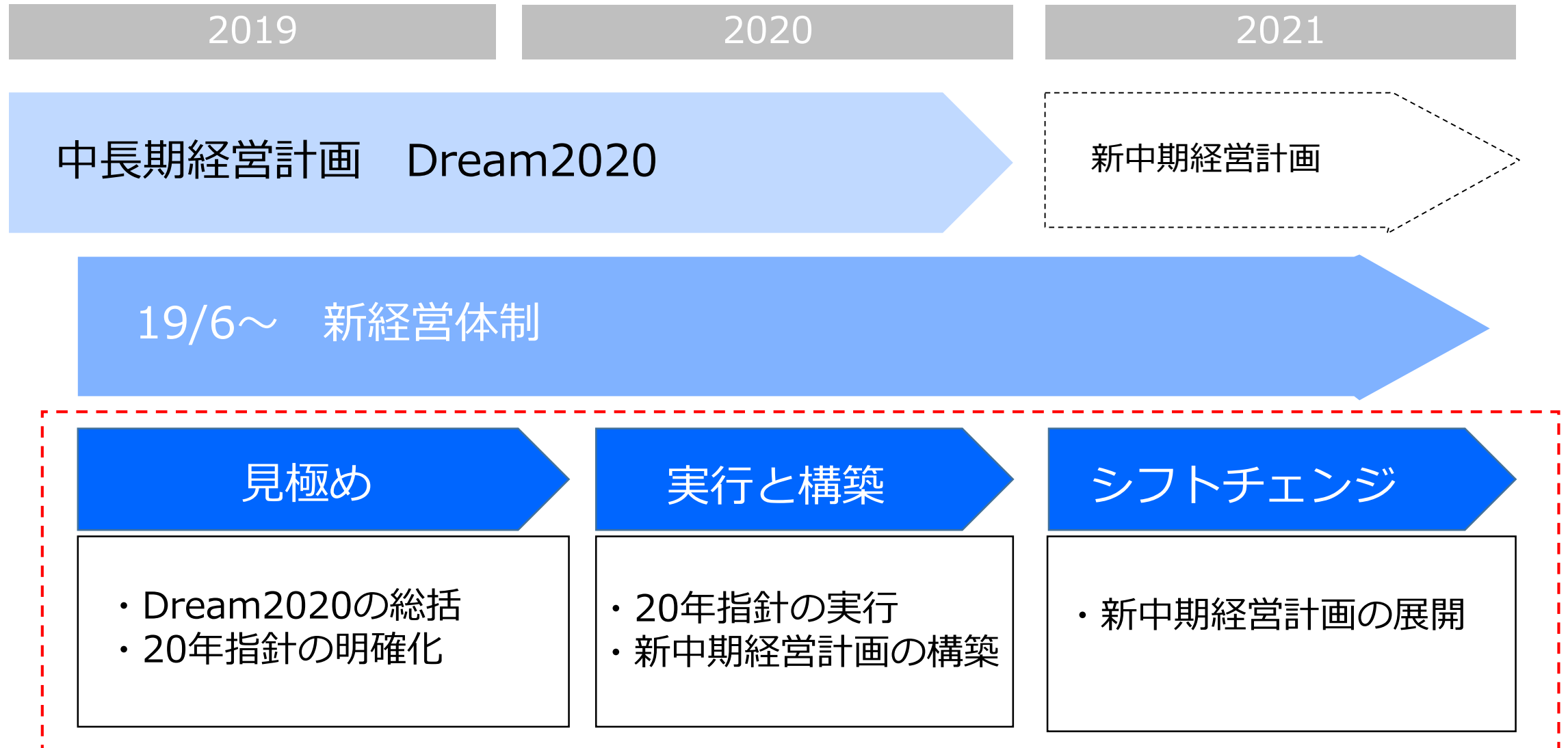
人材育成

事業の選択と集中

- 足元の生産変動の対応に注力が必要
- 一部立ち上がりロスの解消が長期化
- 改善施策の貢献に遅れ
- ※取り組み推進するも足元対応により遅れ

- 電子事業は、順調に受注拡大
- 技術者需要が高く、人材確保に苦労
- ※事業拡大に対するリソースに若干の不足

＜今後の展開＞



【第46回東京モーターショー出展】

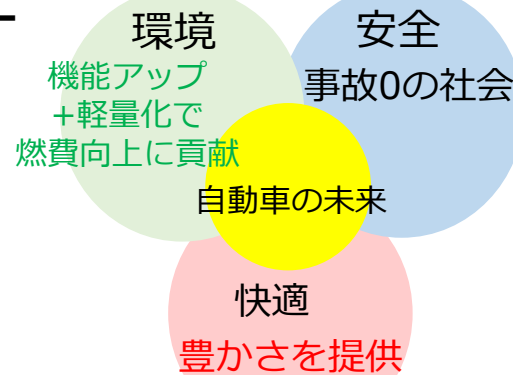
自動車の未来に向けて環境・安全・快適をキーワードとしたシートアジャスタ・ランプ・電子製品を展示

コンセプト

“Wow, so good!”

— 人にやさしく、もっと便利に、安全に —

“よい品”で、“笑顔 と 感動”を 世の中へ！！



「東京モーターショー 当社ブース」

「快適」「安全」「環境」をキーワードに自動車の進化にあわせた高機能な製品を世界に提供

将来の成長に向けた取り組み

スイッチレスシート

快適

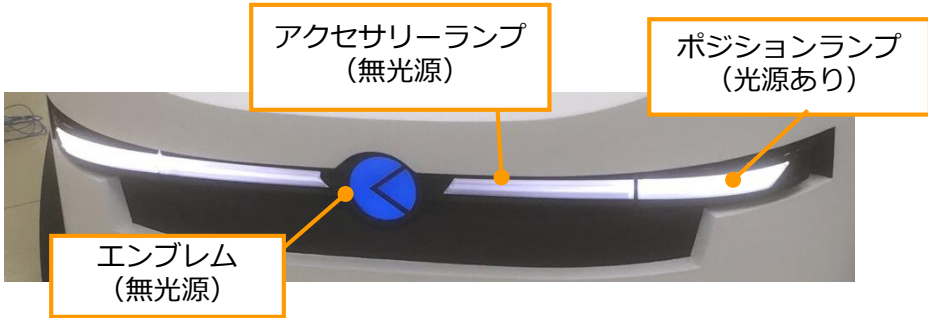


初めて乗っても意のままに動かせるシート

SPLIT LAMP

環境

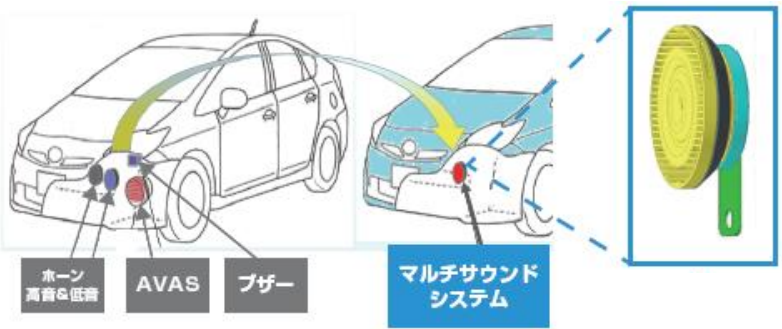
安全



LED特性を活かし、外観デザイン、夜間での安全性に貢献

マルチサウンドシステム

安全

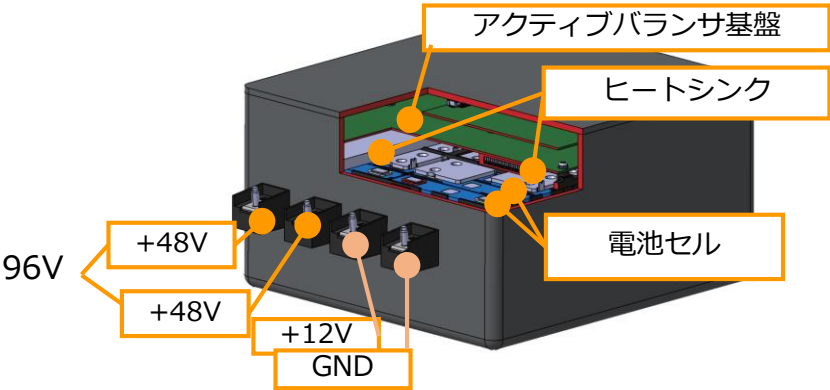


車両搭載用ホーン・車両接近通報器(AVAS)・ブザーの4部品・機能を1つに集約

鉛バッテリーレスリチウムイオン電池モジュール

環境

安全

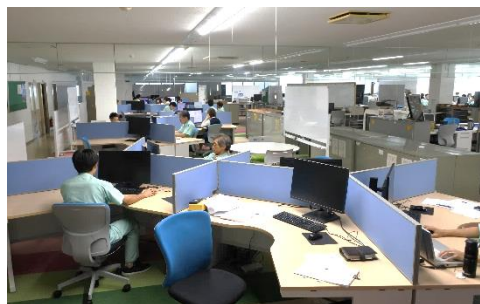


1つの電源から高電圧、通常の電圧供給を可能に

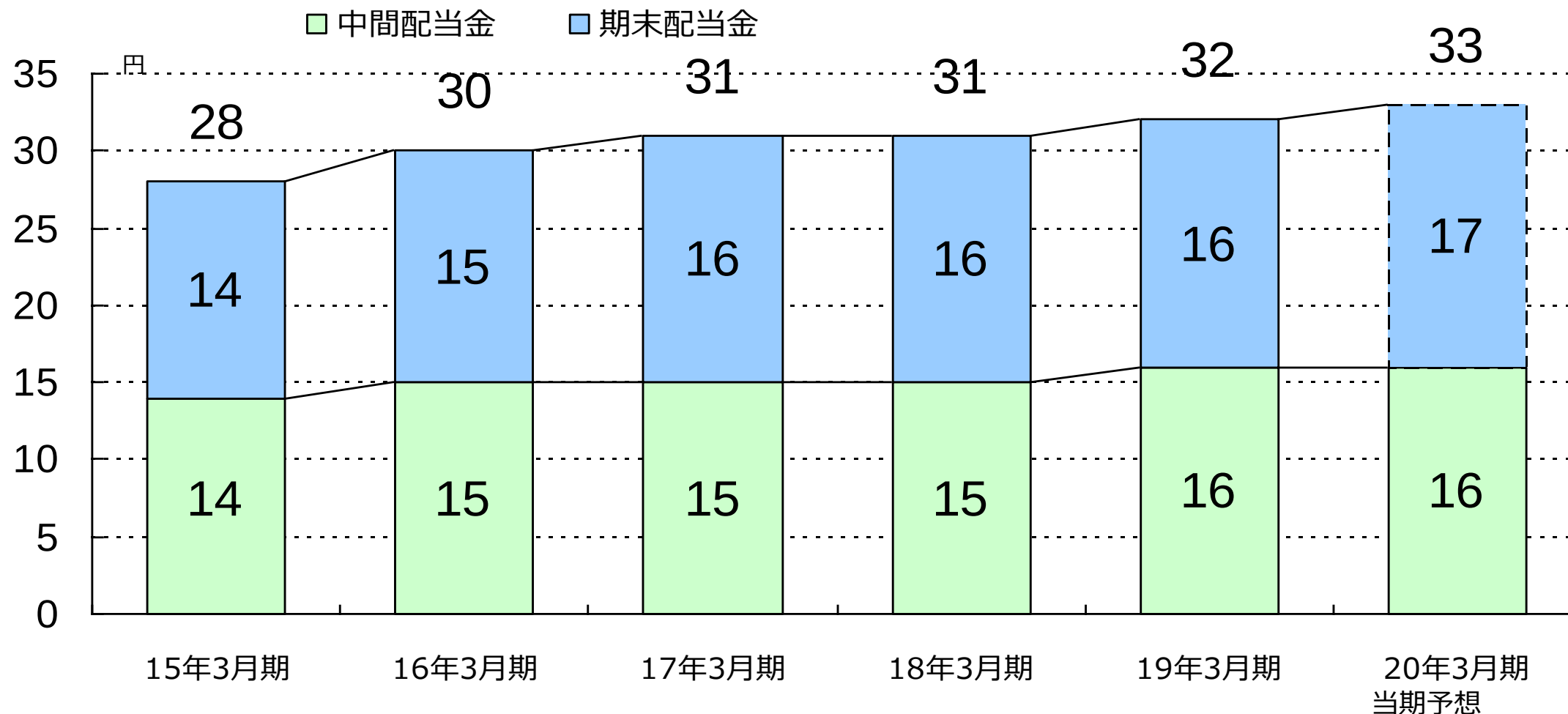
【本社テクニカルセンターリニューアル】

2019年8月に本社テクニカルセンター設計エリアをリニューアル

目的：リニューアルにより、従業員満足度を高め、技術革新に向けた開発業務の向上



今後もお客様の期待に応える製品開発に取り組み、売上拡大に向けて取り組んでまいります



前期より1円増配を予定しております

- ・本資料の内容に関する一切の権利は株式会社今仙電機製作所に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- ・実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

○IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所

グローバル経営事業部 経営企画課 IR担当

TEL 0568-67-1517

URL:<http://www.imasen.co.jp/ir.html>